

企画展

# 大名の装束

—生活の美—

平成21年2月1日(日) — 3月22日(日)

●開館時間 9時—17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館(月曜祝日の場合は翌日)

●入館料 一般300円 高校生200円 小・中学生無料

友の会会員無料 障害者手帳提示の方・付添者・引率者無料

団体(20名様以上)・シルバーカード提示の方 2割引

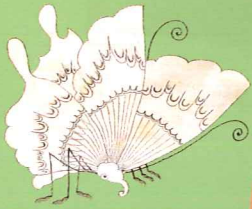
●主催 財団法人 林原美術館

●後援 岡山県郷土文化財団

●ギャラリートーク 毎週土曜日 14時から



(初展示) 紺麻地泊蝶散し文様胸服 池田利隆所用



紅地雷文四菱繋ぎに泊蝶文様織表袴 池田光政所用



白地菊立涌藤葵文様小袖



御所人形

林原美術館

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15  
TEL(089)223-1733  
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>



# 企画展 大名の装束

## —生活の美—

今回は、初めて備前池田家に伝来した大名装束類を一堂に展覧します。林原美術館は、戦国時代を生きた池田家の祖である恒興ゆかりの品や、江戸時代を通じて備前池田家の歴代藩主や夫人達が所用した装束を多く所蔵しております。中には池田家の家紋である泊蝶紋を表した胴服や晴の儀式で用いられた装束、その他小袖などが伝来し、近世の大名装束を語る上で大変貴重な作品群です。本展ではこれらの中から特に恒興、輝政、利隆、光政、綱政までの桃山時代から江戸時代中期にいたる装束類を初公開します。その他、重要文化財の紅地菊枝桐亀甲文様唐織をはじめとする夫人の衣装や可愛らしい姫君達のお召類、豪華絢爛な寝具類などもあわせて展示し、大名家に伝来した魅力あふれる衣装の数々を御覧いただきたく存じます。



(初展示)  
紺地桐鳳凰文様飾夜着 江戸時代後期



(初展示)  
淡黄土平絹地泊蝶散し文様胴服  
池田輝政所用 桃山時代末期～江戸時代初期



(重要文化財)  
紅地菊枝桐亀甲文様唐織  
大義院絲子所用 桃山時代



池田恒興所用小袴の裂(伽羅) 明時代

## 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15 TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

\*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁通下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告 企画展「春浪漫—江戸の絵ごころ—」(仮題)  
平成21年4月3日(金)～5月24日(日)

四季の中でも長い冬をこえて迎える春は、ひときわ華やかなものです。特に桜や梅は、我々日本人の心をとらえ、絵画にも多く描かれてきました。当館が所蔵する近世に描かれた絵画や工芸の中から、春が主題になっている作品を中心に展示します。